

民俗資料館について

1 建設概要

- ・工期：昭和54年10月1日～昭和55年2月20日
- ・床面積：165.62 m²
- ・事業費：12,690,000円
- ・事業名：林業村落振興緊急対策事業
- ・設置：昭和55年4月1日

2 建設までの背景

- ・教育委員会にて失われつつあった民俗資料の収集に昭和50年に着手し、回覧で市民に寄贈をお願いした。このような経過を経て民俗資料館の建設計画に着手する。
- ・平成23年に民俗資料館活用検討委員会を設置。
→民俗資料館の構造や立地に問題があり建替えて、民俗芸能や考古学資料・歴史資料を合せた歴史民俗資料館の建設が良いと意見はあったが、財政事情も勘案し、当面は他のコミュニティ施設との連携方法などが検討されている。

3 現在の状況

- ・市民から寄贈された農機具等を中心に中木庭ダム建設の際に移転した住宅や森田製菓(株)から寄贈されたものが展示されている。
- ・現在の利用は、市内の小学校の社会科教育の一環で入館されている(年間100人程度)

4 新市民会館への集約

文化(コミュニティ)施設として新たな市民会館と民俗資料館を集約することが出来れば音楽や演劇等の鑑賞、あるいは市民による文化活動を発表する施設に民俗文化財等の展示やそれに関する学習が可能な施設を併設することになる。

隣接には図書館、生涯学習センター、都市公園、中川(2級河川)、市庁舎もあることからコンパクトなエリアにおいて歴史と文化教養、自然がミックスされた市民交流の拠点になることが期待できる。

民俗資料館に関する資料

外観(1)



外観(2)



民俗資料館に関する資料

利用状況(1)



利用状況(2)



民俗資料館に関する資料

利用状況(3)



利用状況(4)

